

地域リハ充実費についての実施計画

【令和 5 年度（2023 年度）における地域リハ充実費の活用方法】

基本協定書第 4 2 条において定められている「毎事業年度の収支において剰余金（税引後の当期純利益をいう。）が生じた場合は、剰余金の額に 100 分の 10 を乗じた額以上の額を次事業年度において地域リハビリテーションの充実のために充てなければならない」との項目に関し、前年度の利益から換算した費用と、令和 5 年度の具体的な実施計画をご報告致します。

令和 4 年度当期純利益(剰余金)・・・138,033,996 円

令和 5 年度 地域リハ充実費用・・・13,803,400 円以上

① 市内回復期病院間での連携

市内回復期病院の連携の会の事務局を当院で担っています。研修活動の企画や参加状況の取りまとめを行い、市内回復期病院間での連携を深め、各病院の質の向上を目指します。

船橋市回復期病院連携の会 準備会議を年 2 回、研修を年 2 回と想定し、

- ・準備会議人件費・・・2,500 円×1.5 時間×2 人×2 回⇒1.5 万円
- ・研修参加人件費・・・2,500 円×2 時間×20 人×2 回⇒20 万円
- ・事務局議事録・開催案内・資料作成人件費・・・2,500 円×年 50 時間×2 名⇒25 万円

船橋市回復期病院連携の会の人件費として、約 46.5 万円を見込みます。

② 地域急性期病院への訪問

地域急性期病院の連携室・ソーシャルワーカーを訪問し、このような疾患・状態の方も回復期リハ病院を利用でき、このように改善できるということや、急性期病院から自宅に退院した後も医療保険の外来リハ、介護保険の通所リハ・訪問リハを利用することができることなどを説明し、地域在住の患者でリハビリテーションが必要な方に適切なリハビリテーションサービスが漏れなく提供されることで地域リハビリテーションの充実を図ります。また以前当院に転院した患者がいれば、当院転院後の ADL 改善状況や転帰について説明し、回復期リハビリテーションの効果を実感して頂き対象患者の適切な診療継続に結び付けます。10 病院に対して年 2 回ずつ訪問を実施すると想定し、

- ・管理職人件費・・・3,000 円×2 時間×1 回 3 名×20 回⇒36 万円
- ・退院患者の ADL 改善等資料作成人件費・・・2,500 円×1 時間×20 回⇒5 万円

地域急性期病院への訪問費用として、約 41.0 万円を見込みます。

③ 病院見学会の実施

オープンホスピタルを民生委員、自治会、社会福祉協議会、在宅介護支援センターの方を対象に開催します。年 1 回の企画・開催を行うと想定し、

- ・管理職人件費・・・3,000 円×1.5 時間×管理職 5 名対応⇒2.3 万円
- ・企画・資料作成人件費・・・3,000 円×年 10 時間×管理職 2 名⇒6 万円

回復期リハビリ病棟をこれから新設しようとする病院、あるいは新設したばかりの病院からの見学希望に対応し、当院の運営状況・管理方法・リハビリ提供体制を説明します。年 3 回の見学希望受け入れを想定し、

- ・管理職人件費・・・3,000 円×6 時間×10 名×3 回⇒54 万円
- ・資料作成人件費・・・3,000 円×10 時間⇒3 万円
- ・病院食および準備にかかる費用・・・800 円×参加者 7 名×3 回⇒1.7 万円

地域急性期病院への見学会を開催し、急性期病院の退院支援・地域連携担当の看護師・ソーシャルワーカー担当者ならびに、病棟勤務の看護師に対しても、今後回復期病院へ患者を紹介する際に具体的なイメージを持って頂くために実際に当院を見学して頂きます。年 4 回開催することを想定し、

- ・管理職人件費・・・3,000 円×6 時間×10 名×4 回⇒72 万円
- ・資料作成人件費・・・3,000 円×10 時間⇒3 万円
- ・病院食および準備にかかる費用・・・800 円×参加者 10 名×4 回⇒3.2 万円

見学会の開催費用として、約 145.2 万円を見込みます。

④ 退院前の家庭訪問

退院前のケアとして、令和 4 年度は年間 266 件の家庭訪問を実施しました。コロナ対策もあり必要最低限のケースに対し短時間および原則 1 人での訪問としていましたが、令和 5 年度は少しずつコロナ前の方法に戻し積極的に訪問を行い、必要なケースはセラピスト・看護師等多職種で、ケアマネジャーや住宅改修業者と一緒に自宅を訪問することで、在宅復帰後の生活環境の改善や、生活期のリハビリのご案内も併せて行うことで地域リハの充実を図ります。令和 5 年度は年間 400 件を目標とし、

- ・家庭訪問 1 回あたりの人件費・・・1650 円×1.8 人×2 時間×400 件⇒約 237.6 万円

家庭訪問費用として、約 237.6 万円を見込みます。

⑤ 地域連携推進委員会の活動

当院の地域連携推進委員会では、令和元年度までは地域の病院・診療所・施設・事業所を訪問し、当院のリハビリを伝えるほか、先方の施設の概要を院内で報告していました。また施設間交流会や福祉フェスティバル、夏見地区福祉祭り等に参加をする事で地域に対しリハビリを紹介していました。令和 2 年度以降中止となりましたが、令和 4 年度は市内介護施設や介護事業者の職員に対する WEB 介護職勉強会、WEB 施設間交流会を開催しました。令和 5 年度は対面での介護職勉強会 2 回・対面での施設間交流会 2 回の開催を予定しています。また、院内情報誌を年 2 回発行し市役所や公民館等に広く設置したりホームページへ掲載することで、リハビリテーション病院の設備や取り組みを市民に紹介いたします。

- ・地域連携推進委員会 12 回×0.5 時間×7 名×2,500 円(時間外勤務のため)⇒10.5 万円
- ・介護職勉強会 参加人件費 (スタッフ時間外)・・・2,500 円×1.5 時間×10 名×2 回⇒7.5 万円
- ・施設間交流会 参加人件費 (スタッフ時間外)・・・2,500 円×1.5 時間×20 名×2 回⇒15 万円
- ・勉強会資料作成人件費・・・2,500 円×10 時間⇒2.5 万円
- ・情報誌作成用資料準備人件費・・・3,000 円×30 時間×2 回⇒18 万円
- ・情報誌作成の業者への委託費用・・・13 万円×2 回⇒26 万円
- ・ホームページ掲載業者への委託費用・・・0.5 万円×2 回⇒1 万円

地域連携推進委員会の活動費用として、約 80.5 万円を見込みます。

⑥ 市民公開講座

令和元年度までは、患者家族教室を年 12 回、市民公開講座を年 1 回行なっていました。令和 2 年度以降中止となりましたが、令和 4 年度は市民公開講座を Web で開催し、ホームページへも掲載しました。令和 5 年度は対面での市民公開講座開催を予定し、

- ・ミーティング人件費・・・2,500 円×10 時間×7 人⇒17.5 万円
- ・当日人件費・・・2,500 円×1 時間×5 人⇒1.3 万円
- ・当日資料作成に関する時間外費用・・・2,500 円×10 時間⇒2.5 万円
- ・ホームページ掲載業者への委託費用・・・0.7 万円

市民公開講座開催に関する費用として、約 22.0 万円を見込みます。

⑦ 先端リハビリ機器のモデル導入・紹介

地域において回復期リハビリテーション病棟を牽引する存在であり、地域リハ充実の旗手となるよう、市内他病院では導入されていない（千葉県内では当院を含めて4病院のみが導入している）先端リハビリ機器（歩行アシストロボット）を積極的に活用し、病院見学会開催時に効果を説明したり情報誌で紹介することで、先端リハビリ機器の重要性を説明していきます。

・歩行アシストロボット（トヨタ）レンタル・・・360万円/年

市内介護施設や介護事業者の職員に対して実施する介護職勉強会で、腰痛予防対策の一つとして、腰への負担が多い場面において活用できる福祉用具として紹介します。

・移乗サポートロボット Hug 購入費用・・・85.6万円

先進リハ機器使用・紹介費用として、445.6万円を見込みます。

⑧ 外部会議への参加

○千葉県共用地域利用連携パス（脳卒中）会議

千葉県では「千葉県保健医療計画」に基づき、がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病の4疾病について「循環型地域医療連携システム」を構築し、このシステムによる医療機関の役割分担と連携を円滑に進めるためのツールとして、「千葉県共用地域医療連携パス」を千葉県医師会、千葉県内のかかりつけ医や急性期病院、回復期病院等の関係者で構成する検討会を設置、共用パスの見直しを行っています。当院もこの会議に参加することで地域リハの充実をはかります。

・管理職時間外 3,000円/人×5人×1時間/回×年8回＝12.0万円

○TN（東葛南部）パス会議

大腿骨頸部骨折については、船橋市立医療センターなどの急性期病院と地域の回復期リハビリテーション病院がネットワーク「TNパスネット」を立ち上げ、必要な医療を連携して行っています。お互いに専用の情報提供書（パスシート）を共同使用することで切れ目のない継続した地域医療を実現するためのこの会議に参加することで地域リハの充実をはかります。

・管理職時間外 3,000円/人×2人×1時間/回×年3回＝1.8万円

○ひまわり地域リハ推進委員会

船橋市在宅医療ネットワークの委員会のひとつである、地域リハ推進委員会において、地域リハビリテーション拠点事業への協力や、リハビリ関連団体などの活動の取りまとめ、市内外の情勢を踏まえ、リハビリテーションに関する懸案事項を協議し、対策を検討しています。

・管理職時間外 3,000円/人×3人×2時間/回×年6回＝10.8万円

外部会議への参加に関する費用として、約24.6万円を見込みます。

⑨ 地域会議への参加活動

地域や患者の為に行われる、サービス担当者会議、地域ケア会議に、年間で 600 件ほど当院のスタッフが参加しています。これらは、当院の職員だけではなく、他施設の方々と集まり、今後の患者の事や、地域でのリハビリの事を話し合っています。そこに参加するのはセラピストだけではなく、医師や看護師も集まる仕組みとなっており、リハビリに関する助言も行なっています。これらが、地域包括ケアシステムの構築プロセスになるのではと考えます。

・地域会議への参加活動・・・1,650 円/人×1 時間×600 件=99.0 万円

地域会議への参加に関する費用として、約 99.0 万円を見込みます。

⑩ 院外遊歩道の整備等

地域に開かれた病院を目指し、リハビリテーション病院を多くの市民に知っていただくことができるよう院外遊歩道を一般開放し、ウォーキングコースとして利用いただいております。

・地域住民がいつも気持ちよく安全に散歩できる状態を維持するための植栽年間管理費用
・・・ 194.1 万円

障害者雇用スタッフによる種植え・花の水やり・種の収穫・袋詰め作業（年間 800 袋）

・1,030 円×2 時間/日×月 16 日×12 か月=39.6 万円

また、収穫した種を図書館等へも配布しています。

・(1,650 円+1,030 円) ×1 時間×10 か所配布=2.7 万円

院外遊歩道の整備等に関する費用として、約 236.4 万円を見込みます。

⑪ 医療機関との連携

回復期リハビリテーションを提供している当院は、患者さまの生活の再構築を支援するにあたり、地域の病院との医療連携が不可欠です。船橋市立医療センターとは、3 ヶ月 1 回、連携会議を設け、患者さまの円滑な受け入れについて話し合いを重ねているほか、年 2 回の合同症例検討会を通じて、お互いの役割の理解を深めることで、地域リハの充実を図ります。

医療センターとの連携会議

・管理職 2,500 円/人×10 人×1 時間/回×年 4 回=10.0 万円

・症例検討会 時間外 2,500 円/人×45 人×1 時間/回=11.3 万円

医療機関との連携に関する費用として、約 21.3 万円を見込みます。

⑫ コンパスの会の運営サポート

当院及び当法人関連施設にて入院・通院・通所・訪問による治療を経験又は継続中の患者及び家族によって相互扶助・情報交換・親睦及び社会復帰の一助となる活動を行うコンパスの会の運営のサポートを行い、障害のある方々が退院後も引き続きいきいきとした生活ができるように支援してまいります。

・管理職 2,500 円/人×3 人×1 時間/回×年 12 回=9.0 万円

コンパスの会のサポートに関する費用として、約 9.0 万円を見込みます。

実施計画内容	計画金額
① 市内回復期病院間での連携	46.5 万円
② 地域急性期病院への訪問	41.0 万円
③ 病院見学会の実施	145.2 万円
④ 退院前の家庭訪問	237.6 万円
⑤ 地域連携委員会の活動	80.5 万円
⑥ 市民公開講座	22.0 万円
⑦ 先端リハビリ機器の使用・紹介	445.6 万円
⑧ 外部会議への参加	24.6 万円
⑨ 地域会議への参加活動	99.0 万円
⑩ 院外遊歩道の整備	236.4 万円
⑪ 医療機関との連携	21.3 万円
⑫ コンパスの会の運営サポート	9.0 万円
合計	1,408.7 万円

①～⑫ を合計すると 1,408.7 万円となり、この費用をもって地域リハビリテーションの充実を図るものと致します。